

# NO！リニア

No.156

2022年11月2日

JR東海労働組合

JR東海労HP  
にアクセス↓



## 大井川水問題パンフは問題だ！⑧

# 湧水にも有害物質混入の恐れ 大量の湧水処理は可能か？

リニアパンフの質問4は「工事により、大井川や地下水の水質に影響が出ませんか？」です。これに対し、「現在の排水に関する法令等よりも厳しい基準を満たすように処理して大井川に戻す等、水質に影響が出ないようにします」と回答しています。処理施設は、導水路トンネル出口の樫島（さわらじま）に設置するとしています。パンフには、処理施設の写真が掲載されています。

トンネルを掘削する際、発生土（残土）が空気に触れて、ヒ素などの重金属が検出されることは前々から言われていますが、同時に湧水にも重金属が混ざる危険性は充分あり得ます。処理を適切に行わなければ、飲料水としては使えなくなりますので、放置するわけにはいきません。

湧水は毎秒2tと言われていますが、問題はそれだけの大量の水を処理できるかです。もっとも、大量の湧水をポンプアップするだけの設備ができるかどうかも確定していませんが、それができての仮定の話です。その一方で、田代ダムの取水制限をした場合は、未処理の湧水を山梨県側に流すこととなります。その対策も明らかにされていません。

毎秒2tの水の処理をしなければならないとなれば、一体どのくらいの設備の規模が必要になるのでしょうか？パンフには処理設備の説明がされていません。パンフの写真を見ると、処理能力を信用していいものなのかは疑問です。